

速報

木製猫砂販売の現状*¹

—鹿児島市内の小売店を対象とした事例調査から—

新村日奈子*²・奥山洋一郎*²・滝沢裕子*²

新村日奈子・奥山洋一郎・滝沢裕子：木製猫砂販売の現状—鹿児島市内の小売店を対象とした事例調査から— 九州森林研究 77：145—147, 2023 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全国的な蔓延による外出自粛の要請等をきっかけに猫の飼育者が増加した。猫の飼育者が増加したため、猫の飼育には欠かせない排泄用砂（猫砂）を購入する人も増加している。猫砂には木材を使った木製猫砂があり、猫砂原料の中でも売上は中位から上位である。本研究が対象とした木製猫砂を取り扱っている鹿児島市内の小売店では、猫砂はこれからも売上が期待できるという回答が多く購入者がいる限り木製猫砂を今後も取り扱おうと考えていることが本研究から明らかになった。今後の課題は、木製猫砂の商品が購入者からどのように評価されているのか、環境への配慮が購入意欲につながっているのかについての調査や製造している会社に製造コストなどの聞き取り調査を行い、木製猫砂への評価や木製猫砂を製造している会社の実態を明らかにすることである。

キーワード：木製猫砂、販売、小売店

I. はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全国的な蔓延による外出自粛の要請等をきっかけに猫の飼育者が増加した。一般社団法人ペットフード協会の「2022年（令和4年）全国犬猫飼育実態調査結果」では、2021年の新規飼育者の飼育頭数は48万頭であり、2013年から2022年の10年で最多頭数であった。猫の飼育者が増加したため、猫の飼育には欠かせない猫砂を購入する人も増加している。猫砂には木材を使った木製猫砂があり、猫砂を通して飼育者に木製品を身近に感じられる可能性がある。

猫砂に着目した既往研究としては、石川（1999）による猫が好む猫砂がどのような砂なのか5種類の商品を比較した研究があるが、木製猫砂そのものや、猫砂の種類による販売状況の違いに着目した報告はない。そこで本研究では猫砂を販売している小売店における木製猫砂の販売状況、また小売店が木製猫砂に対しどのように考えているか、今後も取り扱う意志があるのかについて明らかにする。

II. 猫砂と猫の排泄箱の概要

猫砂とは猫のトイレに用いられる砂である。猫砂が使われる目的として自身の排泄物を砂に埋めて隠す猫の習性による排泄のしやすさと消臭が挙げられる。猫砂の粒の大きさや重さ、性質は商品により異なる。猫が好む猫砂は石川（1999）によると手触りが硬く粒が小さく、重い、無臭、脱臭能脱がある猫砂であることがわかっている。販売形態として猫砂は袋に入れて販売されており、容量はL単位の商品が多いが、稀にkg単位の商品がある。

価格.com - 猫砂製品一覧から商品を原料別に分け、その原料の種類別製品数をまとめた。猫砂の原料種類は主に5種類で鉱物製、紙製、おから製、シリカゲル製、木製である。原料の種類別製品数から商品数の原料種類別割合を出した（図-1）。原料の種類別製品数1位は紙製30%、2位は木製27%、3位は鉱物製17%、4位はおから製10%であった。

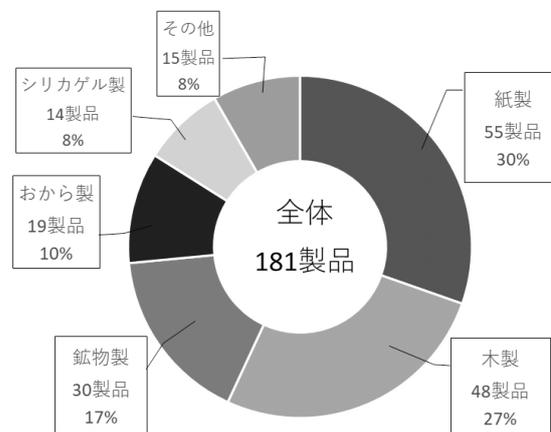


図-1. 商品数の原料種類別割合
(調査結果から筆者作成)

また、価格.com - 猫砂製品一覧から製品の容量について調査したところ2L~35Lの商品があり、その最頻値を求めると7Lとなった。更に2番目の最頻値は6Lであった。百分率で表すと、7Lは25%、6Lは16%であった。

猫の排泄箱は2種類あり、この種類で猫砂に求められる性質が

*¹ Shimmura, H., Okuyama, Y. and Takisawa, Y.: The current situation of the wooden cat litter sale-From the example investigation for the retail store in Kagoshima city-

*² 鹿児島大学農学部 Fac. Agric., Kagoshima Univ., Kagoshima, 890-0065, Japan

異なる（表-1）。通常用トイレには固まる猫砂、システムトイレには固まらない猫砂が使用される。

表-1. 排泄箱の種類

種類	通常用トイレ	システムトイレ
使用方法	固まる猫砂を入れる	上段に固まらない猫砂 下段にシート
掃除	排尿後、掃除が必要	排尿後は掃除が不要
1ヶ月の猫砂使用量	約6.7L	約2.0L

（筆者作成．使用量は筆者による2022年の実測値）

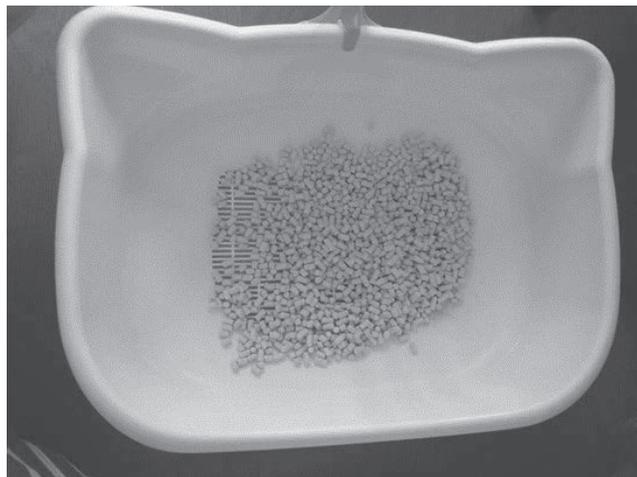


図-2. 猫砂例（システムトイレ）

通常用トイレは桶のような形の容器になっているのに対しシステムトイレは上下の容器に分かれている。この排泄箱の形状による違いが、1カ月の猫砂使用量の違いに表れている。一般的にシステムトイレより通常用トイレの方が猫砂使用量は多い。通常用トイレの猫砂使用量が多いのは、通常用トイレは固まる猫砂を使用しているためである。猫が排尿した後に固まった猫砂を取り除く必要があり、そのため猫砂の量は減少する。しかし、システムトイレは上の容器がすのこ状になっており、上の容器から落ちてきた尿を下の容器のシートが吸収するようになっているため猫砂を取り除く作業が必要なく、猫砂の量は変化しない。

表-2. 原料の種類による違い

原料	鉱物製	紙製	おから製	シリカゲル製	木製
重量	重い	とても軽い	軽い	軽い	軽い
消臭力	○	△	×	◎	○
固まりやすさ	◎	○	△	×	△
トイレに流せる	×	△	◎	×	○
燃やせるゴミに出せる	△	○	◎	×	◎
環境への配慮	△	○	○	×	◎
1Lあたりの価格(円)	113.22	127.25	127.33	257.34	127.96

◎：とても良い ○：良い △：どちらともいえない ×：悪い

（筆者作成．価格は筆者調べ）

また、猫砂には原料の種類で性質が異なり、それをまとめたものが表-2である。1Lあたりの価格は価格.com・猫砂製品一覧の最安価格（送料別）から求めた。価格に注目すると鉱物製が最も安価で、シリカゲル製が最も高価であることがわかる。他の3種類の紙製、おから製、木製はあまり価格に差はなかった。

表-2より、木製猫砂の長所は重量が軽い、廃棄の容易さである。重量が軽いということは大容量などのまとめ買いが可能で持ち運びがしやすいという利点になる。廃棄の容易さは燃やせるごみとして廃棄可能なことやトイレに流すことができる商品もあるため飼育者の負担軽減につながる。しかし短所として、固まりにくい点と重量が軽いため飛び散りやすい点がある。

Ⅲ. 調査方法

個人営業等のペットショップを除いた鹿児島市の小売店（スーパーマーケット6社、ドラッグストア4社、ホームセンター4社、百元ショップ4社、コンビニエンスストア（以下コンビニ）3社、ペットショップ4社）計25社を対象とし、メールや電話で聞き取り調査を行った。聞き取り項目は表-3の通りである。

表-3. 聞き取り項目

- ・猫砂取扱開始時期
- ・コロナ禍による需要拡大の有無
- ・猫砂全体の売上が期待できるか
- ・売上のよい容量
- ・売れ筋商品の理由
- ・原料種類別売上
- ・これからの木製猫砂取扱意志の有無

Ⅳ. 調査結果

小売店25社中13社から回答があり、その内木製猫砂を取り扱っている小売店は9社であった。その回答を表-4に、原料種類別売上、売れ筋商品である理由の詳細を表の下に示す。

コロナ禍で猫砂の需要拡大の有無では、回答のあった7社中3社は需要拡大があったと回答した。残りの4社は需要拡大があったとは断言できないと回答した。理由は以下の二つが挙げられる。一つ目は、売上は伸びたが原料が値上がりし商品価格も上がったためである。二つ目は、売上は伸びているがコロナ禍によって伸びたのかはわかっていないためである。後者から売上は伸びているがコロナ禍によって急激に伸びた訳ではないということが明らかとなった。

猫砂全体の売上が期待できるかという項目では回答のあった5社中1社、コンビニAのみが期待できないと回答している。理由として、コンビニの狭い店内では猫砂という商品は場所をとる割には売上が少ない商品であること、スーパーマーケット等に比べると少ない容量で価格も高めであること、コロナ禍では外出自粛要請により大規模小売店の利用する機会が減りコンビニでの需要が見込めたが現在はそれが見込めなくなったことが挙げられた。

猫砂の種類別売上順位では、回答のあった3社で木製は2位と3位であり、1位と2位には鉱物製と紙製が入る結果となった。鉱物製と紙製が売上上位である理由として、売れ筋商品である理由が大きいと考えられる。鉱物製が売れ筋商品である理由は昔から流通しており、安価で大容量のコストパフォーマンスがよいため、紙製は排尿によって色のつくタイプと色のつかないタイプでそれぞれ長所があり、色のつくタイプは固まる部分が一目でわかる処理のしやすさ、色のつかないタイプは尿尿などの色の変化が分かりやすいことから健康状態の管理がしやすくなることが挙げ

られる。

将来も木製猫砂を取り扱っていききたいかという質問には回答のあった6社全てが木製猫砂を取り扱っていききたいと回答した。今後売上があまり期待できないと回答したコンビニAも購入者がいる限りそのニーズに応えるという回答だった。このことから、小売店は購入者がいる限り木製猫砂を取り扱っていききたいと考えていることがわかった。

V. まとめ

木製猫砂の長所は重量が軽い、廃棄の容易さであり、加えて化学物質などを使用していない商品や木材の端材・廃材などを使用した商品ということを謳った製品パッケージや商品説明があることで購入者に環境への配慮を促す一助になる可能性がある。

木製猫砂を取り扱っている鹿児島市内の小売店では、猫砂はこれからも売上が期待できるという回答が多く、また購入者がいる限り木製猫砂を今後も取り扱おうと考えていることが明らかとなった。

今後の研究課題として、木製猫砂の商品が購入者からどのように評価されているのか、環境への配慮が購入意欲につながってい

るのかについての調査や製造している会社に製造コストなどの聞き取り調査を行い、木製猫砂への評価や木製猫砂を製造している会社の実態を明らかにすることが挙げられる。

引用文献

- 一般社団法人ペットフード協会 (2022) URL:<https://petfood.or.jp/topics/img/221226.pdf>. (2023年4月14日利用)
- 石川貴子, 内田佳子, 山田弘司 (1999) 日本獣医師会雑誌 52巻 3号: 183-186
- 株式会社アイドカ (2023) URL:<https://store.aidca.jp/%e7%8c%ab/p2011/> (2023年10月11日利用)
- 株式会社マイベスト (2023) URL:<https://my-best.com/873> (2023年10月11日利用)
- 株式会社マイスターズ (2023) https://petnomori.jp/knowledge/detail/?w_book_id=387 (2023年10月11日利用)
- 価格.com (2023) URL:<https://kakaku.com/pet/litter/itemlist.aspx> (2023年10月11日利用)
- (2023年11月10日受付; 2023年12月25日受理)

表-4. 回答一覧

	会社名	取扱	取扱開始時	需要拡大	売上金額	売上期待度	売れ筋容量	種類別売上	売れ筋商品	将来の取扱
1	スーパーマーケットA	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	スーパーマーケットB	○	2022(木)	△	-	○	-	-	-	○
3	スーパーマーケットC	○	-	△	-	-	-	-	-	-
4	スーパーマーケットD	○	-	○	-	○	5L~8L	①	①	○
5	ドラッグストアA	○	-	△	-	-	-	-	-	-
6	ホームセンターA	○	-	-	-	-	-	-	-	○
7	ホームセンターB	○	1989くらい	○	-	○	大容量	②	②	○
8	ホームセンターC	○	2002	△	-	○	-	③	-	○
9	コンビニA	○	2016	○	-	△	-	-	-	○
10	スーパーマーケットE	×	-	-	-	-	-	-	-	-
11	百円ショップA	×	-	-	-	-	-	-	-	-
12	百円ショップB	×	2001-2008	-	-	-	-	-	-	-
13	コンビニB	×	-	-	-	-	-	-	-	-

◎: とても良い ○: 良い △: どちらともいえない —: 未回答

① 1位: 鉱物製 2位: 紙製 3位: 木製

② 1位: 紙製 2位: 木製 3位: 鉱物製 4位: おから製 5位: シリカゲル製

③ 1位: 紙製44% 2位: 鉱物製38% 3位: 木製13% 4位: おから製5%

①商品: 鉱物製8Lの商品

・昔から流通しているもの(鉱物製)で、コストパフォーマンスがよいもの

②商品: 紙製の商品

・色のつくタイプは処理のしやすさ

・色のつかないタイプは健康状態の管理のしやすさ